

## TSR - Press Release

### 2011年PC資産管理市場を発表

**2011年PC資産管理市場規模は300億円、対前年比7.7%増  
市場拡大要因は「スマートデバイス」、「SaaS市場拡大」  
中小企業への導入が本格的に進んでいる**

株式会社 テクノ・システム・リサーチは『2012年版 PC 資産管理市場のマーケティング分析』を  
発刊し、PC 資産管理の市場規模を発表致しました。

※PC 資産管理市場の構成要素とは、PC 資産管理、PC セキュリティ管理、SaaS、MDM、保守サービスを指していま  
す。

2011年のPC 資産管理の市場規模は300億円、対前年比7.7%の増加となりました。  
PC 資産管理市場は参入メーカー数が日本国内において30社以上を数え、依然として激し  
い価格競争が繰り返されているものの、MDMによる新しい管理対象が広がっていくこと、  
SaaS提供によって、導入が容易で安価に提供できる仕組みが出てきたことで中小企業の導  
入率が向上しているといったことから市場は拡大しています。

TSRでは今後PC 資産管理市場は2016年にかけて年間平均成長率5.9%で推移していき  
2016年には市場規模は395億円達すると予想しています。

2011年、管理対象クライアントPC3,243万台の内、1,592万台でPC 資産管理ソフトが利  
用されており、その導入率は49%に至っています。

但し、企業規模によってその導入率は大きく異なっており、従業員数100人以上の企業へ  
の導入率は69%と高いのに対して、従業員数99人以下の企業への導入率は19%にとどま  
っています。

今後、PC 資産管理ツールの導入率が低かった中小企業への新規案件の増加が見込めること  
から、2016年には従業員数100人以上の企業は74%、99人以下の企業は48%の導入率に

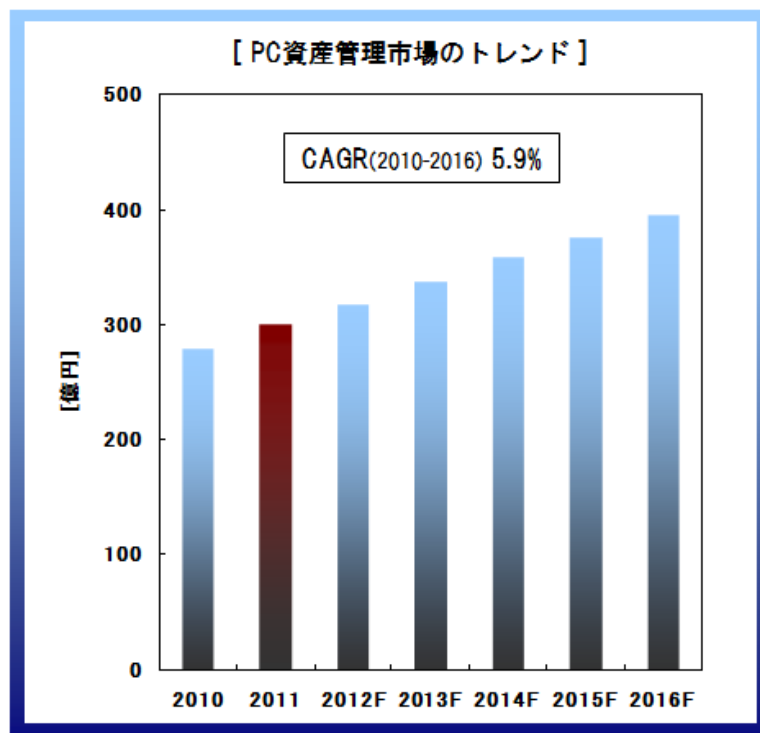
なり、全体の導入率としては64%に拡大すると予測しています。

大企業のユーザーに関しては、新規案件より乗換え案件が増加しており、サーバー1台で管理できるクライアントPCの台数が多い製品や、常駐メモリが小さい製品に乗換えるケースが増加しています。

中小企業の場合、All In Oneで導入した製品の使用していない機能が多くあり、個別購入ができる製品に乗換える案件も増加しています。

そしてWindows7への乗り換え需要が2014年まで続くなど外部要因を鑑みると中小企業の新規案件の増加と共に、大企業のリプレース案件も増加していくと見込んでいます。

メーカーシェアでは、日立製作所(シェア 18.0%)、2位がエムオーテックスで(同 10.3%)、3位がソリトンシステムズ(同 9.8%)、4位がクオリティソフト(同 8.1%)、5位が富士通(同 8.0%)、6位がマイクロソフト(同 7.6%)となりました。



【リリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第1グループ 沢目ミンジョン ([m.sawame@t-s-r.co.jp](mailto:m.sawame@t-s-r.co.jp)) Tel: 03-3851-5651